

道の駅は地域の 元気を表すバロメーター

道の駅「久米の里」は、

岡山県北部の津山市西部久米地域にあり、中国自動車道院庄ICから車で5分の国道181号線沿いに、平成12年5月3日に県下13番目にオープンして、ちょうど今年が創業10周年を迎えました。

年間利用客は平成21年度に32万6千人（レジ通過人数）で、県内にある15道の駅中2位の利用客数で、売上は2億8千万円で売



売上高及び利用者数推移

上・利用客数ともに右肩上がりで推移しております。この10年間で、22億5千万円の売上と275万人のお客様のご愛顧に支えられ今日を迎えております。

女性たちの夢からはじまった

昭和50年代後半に農協婦人部が中心になって自ら作り、お小遣いを稼ごうという夢を描き、目標を立てて農協の敷地の一角



活菜館

平成になり大分県知事平松守彦氏が提唱した1村1品運動が成果を挙げていた頃、当県では「自らの地域は自らで切り拓く」をキャッチフレーズに、特産物づくりの推進が叫ばれていました。当時はまだ減反が農業振興だと勘違いしていた町政に、農業高校校長出身の村上稔氏が久米町長に就任して、公約だった農産物の流通改革のため自ら価格決定ができる農産物直売所と観光客が気軽に立ち寄れる休憩ステーションを併設した「道の駅」構想が始まりました。

農業高校校長出身の町長の誕生で 農業施策が一変

を借りて100円市を月2回、農産物の直売から始めました。最初は家庭菜園を「もう一畝、もう一通り」多く植えることから始め、月2回が週2回になり仲間が増えたことで「久米町青空市生産組合」を発足させ、毎日営業になりました。

道の駅の開設にむけて

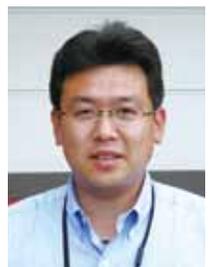
「一畝、一通り拡大運動」は、水田転作により1枚の水田を畑に転換する農家が増えて、生産力は拡大し売上は平成11年には1億円を超えるまでに成長しました。

周辺地域では系統出荷をめざして品目を定めた産地づくりが提唱されておりましたが、ここでは「青空市産地」が出来上がり、その後の系統出荷産地がなかなか育たない現状が続きました。

そこに道の駅構想がもち上がり、生産意欲が向上し計画生産に向けた取り組みが行われ施設化はもちろん、イチゴ、梨、ピオーネなどの果実にも新たに取り組みがはじまり、この地域の農業生産の底辺がさらに広がりました。

Zガンダムがある道の駅!?

施設は4つのゾーンに分けられ、「仙人館」は郷土土産や物産品の販売、「活菜館」は地元産の農産物販売、「食遊館」は地元食材



道の駅久米の里
支配人
金田 稔久
(岡山県津山市)



仙人まつり



を使ったレストランを営業、そして、「休憩コーナー」とトイレ、それに約50台の駐車スペースを併設しております。

オープンした頃、地元在住の方が7年の歳月をかけて高さ7mのZガンダムの模型を作ったことがマスコミで取り上げられ、製作者の格納庫にはたくさんの方が見学できるようになりました。製作者から末永く展示して多くの方々に見ていただきたいとの希望があり当時の久米町へ寄贈され、道の駅に格納庫を整備し展示することになりました。それからは全国のガンダムファンはもちろん、日本一の巨大ロボットを一目見ようと多くの方が来店されております。

**経営のスタンスは地元産に
こだわり、安全・安心を提供**

道の駅の原点は、休憩ができ、地元の産物や新鮮な農産物を販売し、地域が育んだ郷土料理を提供し、交流人口の増加を図り、それぞれの地域の活性化を進めていくことだと思っております。私共は地元で生産された農産物のみを販売することを「社是」にしているので品薄状態の時もありますが、それでも地元の産物に「こだわっ

た販売」をしております。最近では品薄になると市場等から仕入れて品揃えをしている道の駅や農産物直売所を多く見受けますが、道の駅として設置された趣旨を理解し、堅持することがお客様への「安心」につながると確信しております。



津山ホルモンうどん

津山は明治維新以前の肉食が禁止されていた時代から全国でもまれな「養生喰い」の本場であったことから牛肉文化が発達し、食遊館ではB-1グランプリでブロンズグランプリ(第3位)を受賞した「津山ホルモンうどん」をはじめ、「津山焼そば」「肉こり」などが人気メニューで、新しく「お汁かけごはん」を提供して地域の食文化の発展と食育活動も展開しております。また、地元農産物を使ったアイスクリームも好評で、ジャンボピーマンを原料にした「ジャンボピーアイス」、しょうゆと黒大豆、イチゴ、梅など10種類を提供しております。店舗づくりの基本には「田



しあわせのお汁かけごはん



ホルモンうどんに関連したお土産セット

舎らしさ」と「デパ地下」のように楽しみながら清潔感があって丁寧な接客を行い、思いやりの心を大切にした社員教育を行っております。

道の駅満足度ランキング中国地区1位

この度、旅行専門雑誌「じゃらん」の調査で「第4回道の駅満足度ランキング」が発表され、私共は初めてベスト20入りすると同時に1位をいただいたことに驚き、ご愛顧に感謝しております。イベントを年間通じて開催するなど注目度を上げる取り組みや「地元こだわりの経営」、そしてランドマーク的存在のZガンダムを活かした道の駅づくりをしている成果を認めていただいたいと思っております。

次の20年目に向けて

今日まで取り組んできた経営姿勢を堅持していくことは当然ですが、柔軟な発想と素早い行動力で発展させるよう取り組みたいと思っております。また道の駅は成長産業の1つとして経済界から注目を浴びているため、今後はさらに厳しい競争と協調の時代が来ると考えます。経営体力を付け、従来のサービスだけでなく、色々な機能も持たせながら地域社会とともに歩んでいくことが肝要であり、事業性を研究しつつ少子高齢社会に対応した経営をしていくことが今後の課題と考え、新たな取り組みを展開したいと考えております。